

川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想(案)に関する パブリックコメントの結果

1 概要

川崎市では、本庁舎及び第2庁舎の庁舎建替を含む抜本的な耐震対策について、どのような手法をとるべきかなど基本的な方向性を定め、「川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想(案)」として取りまとめて、市民の皆様の意見を募集しました。

その結果、10通(意見総数18件)の意見をいただきましたので、意見の概要及び意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 パブリックコメントの概要

題 名：川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想(案)について

意見の募集期間：平成25年12月20日(金)から平成26年1月20日(月)まで

意見の提出方法：郵送、持参、FAX、電子メールのいずれか

募集の周知方法：①市政だより(1月1日号掲載)

②報道発表(12月12日発表)

③市ホームページ

④資料の配布

- ・情報プラザ(市役所第3庁舎2階)
- ・市役所本庁舎
- ・公文書館
- ・各区役所、支所、出張所、行政サービスコーナー、柿生連絡所
- ・教育文化会館
- ・各市民館、宮前市民館菅生分館、麻生市民館岡上分館
- ・各図書館、分館
- ・市民ミュージアム
- ・生涯学習プラザ

結果の公表方法：①市ホームページ

②資料の閲覧

情報プラザ(市役所第3庁舎2階)及び各区役所市政資料コーナーにおいて、資料の閲覧が可能です。

3 意見提出数・意見件数

意見提出数(意見件数)	10通(18件)
郵送	2通(5件)
持参	0通(0件)
FAX	5通(7件)
電子メール	3通(6件)

4 意見の概要と対応

パブリックコメントの結果、案の趣旨に沿った意見や、今後取組を進める中で検討する意見などのほか、意見内容を反映させることで基本構想の内容をより充実させることのできる意見がありましたことから、一部の意見を反映し、今後の取組に活かしてまいります。

(1) 意見に対する本市の考え方の区分の説明

- A：意見を踏まえ、基本構想に反映させるもの
- B：案の趣旨に沿った意見であり、意見を踏まえ、取組を推進するもの
- C：今後取組を進める中で、検討するもの
- D：案に対する質問・要望の意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見）

(2) 意見の件数と対応区分

項目	A	B	C	D	E	計
①全般に関する事項		5				5
②耐震対策手法に関する事項				1		1
③立地場所に関する事項		1		1		2
④新庁舎に求められる機能・役割等に関する事項		1	2			3
⑤コスト・財源等に関する事項	4					4
⑥その他に関する事項			2	1		3
合計	4	7	4	3		18

(3) 意見の概要と意見に対する本市の考え方

別紙のとおり

(4) 川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想（案）の修正点

いただいた意見の趣旨を踏まえ、「3.1. 検討にあたって留意すべき事項」を加えます。

5 問合せ先

川崎市総務局総務部庁舎管理課

電話：044-200-3555

FAX：044-200-3749

E-mail 16tyosya@city.kawasaki.jp

「川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想（案）」に対する 意見の概要と本市の考え方について

1 全般に関する事項

No.	意見の概要	本市の考え方	区分
1	現庁舎敷地での建替えに賛成します。 仕事上で市役所へ行きますが、課が分散 していて非常に不便です。 1か所で済むようにして下さい。	基本構想に沿った意見として、取組を進 めてまいります。	B
2	建替えに賛成です。		B
3	新庁舎整備の基本的な考え方は妥当だと 思います。 良い市役所ができるよう期待します。		B
4	安心で安全な暮らしを確保できるように お願いします。	基本構想では、新庁舎整備の基本的な考 え方として、「市民の安全で安心な暮らし を確保するため、発災時には災害対策活動 の中核拠点として十分に機能する市庁舎」 を掲げており、市民の安全で安心な暮らし を確保できるよう取組を進めてまいりま す。	B
5	建替えの他に方法がないように思いま す。安全で安心な暮らしの確保と経済性の 確保は特に優先度が高いと思うので、そこ に注意して新庁舎を建てて下さい。	基本構想では、新庁舎整備の基本的な考 え方として、「市民の安全で安心な暮らし を確保するため、発災時には災害対策活動 の中核拠点として十分に機能する市庁舎」 及び「すべての利用者に配慮し、効率的な 執務が可能で、経済性が高く、将来の変化 に柔軟に対応できる持続可能な市庁舎」を 掲げており、市民の安全で安心な暮らしと 経済性を確保できるよう取組を進めてまい ります。	B

2 耐震対策手法に関する事項

No.	意見の概要	本市の考え方	区分
6	<p>首都圏の庁舎建築で神奈川県庁舎を除き、戦前の建物を使用している庁舎が川崎以外にあるでしょうか。</p> <p>戦前の庁舎を現役で使用しているのは市民の誇りです。これを次世代に継承する義務があるはずで、もう少し時間をかけて市民の声に耳を傾けて下さい。</p> <p>ほとんどの人はこの件について知らないと思います。</p> <p>建て替えの第一の理由に耐震補強の困難さを挙げていますが、「困難」＝「不可能」ではないはずで、まずできる方法を考え、その問題点を後から検討したらどうでしょうか。</p> <p>市長はこの問題をどうお考えでしょうか。</p>	<p>築76年を経過している本庁舎が、多くの市民から愛着を持たれていることは認識しております。</p> <p>しかしながら、本庁舎について新耐震設計基準相当であるIs値0.6への耐震補強工事を行う場合は、杭・基礎の更新が不可欠となるため、既存の建物の地下室で工事を行う必要があります。このため、まず、地下階にある受変電設備・空調設備等をいったん撤去し、工事完了後に新設する必要があります。また、天井高が低い地下室内の限られたスペースでの作業となり、通常の重機を入れることができないため、短いドリルを継ぎ足しながら少しずつ掘削し、新しく打つ杭も継ぎ足しながらの作業になります。なお、現在は、地下の柱の下に荷重を杭に伝達するための基礎構造物があり、その下に杭があると考えられますが、現状の建物の荷重を支えた状態では、既存の基礎構造物を撤去することが困難であるため、基礎構造物を残したまま、その周囲に新たな杭を打ち、さらに、これらの新設された杭に柱の荷重を伝達するための新たな構造体を造る必要があると考えられます。</p> <p>こうした特殊な工事を行う中で建設当時の詳細な図面がないため、既存の杭・基礎の状態が不明であり、新しい杭や構造体の位置及び大きさや、それを屋内で施工することが可能なのかについても、事前の検討には限界があり、実際に施工する際に地面を掘削してみないと分からないような多くの不確定要素があります。また、本庁舎周辺は地下水位が高いため地下の床スラブを掘削し地下の工事を実施する際は湧水対策が必要となる可能性があります。屋内の限られたスペースでの工事となるため、長いドリルを使って一気に連壁を施工していくような一般的な湧水対策は適用が困難であり、また、地下にコンクリート構造物や岩などの大きな地中障害物があったときに、屋内の限られたスペースの中での作業では、撤去ができない可能性があるなど、この点についても多くの不確定要素があります。このようなことから、工事の実施は不可能とは断定できないものの、困難です。</p> <p>また、耐震補強を行う場合のコストは建替えを行う場合に比べ高額であり、現在価値化した場合にはコストに著しい差が出なくなるものの、不確定要素により追加工事が発生した場合は多額の工事費用が掛かるとともに工期の延長に伴う仮移転賃借料など大幅なコストの増加が想定されます。</p>	D

		<p>さらに、仮に耐震補強を行ったとしても、建替えにより解決できる分散化・狭あい化等の課題が解決できません。また、現在は庁舎内に多くの段差がありバリアフリーの問題を抱えていますが、これを解決するためには、随所に小型のエレベーター又は昇降装置を付ける必要があり、使いづらだけでなく元の庁舎の内部空間を現況のままの面影で保存することはできません。</p> <p>また本来、災害応急対策活動に必要な施設のうち特に重要な施設である本庁舎に必要とされる耐震性能は、新耐震設計基準の1.5倍相当であるIs値0.9ですが、Is値0.9を確保するためには、工事実施の困難性はさらに大きくなる上、多数の耐震壁の設置により施設利用の制約も大きくなります。</p> <p>こうしたことから、学識経験者と市民代表からなる基本構想検討委員会の意見も踏まえ、本市としてこれらを総合的に考慮した結果、抜本的耐震対策として建替えが必要と判断したものです。</p> <p>なお、現庁舎を現状のまま保存することは困難ですが、新庁舎が市民の皆様から親しみを持たれるものとなるよう、現庁舎の記憶を継承するための方策なども含めまして、今後様々な手法を検討してまいります。</p> <p>また、これまでの検討におきましては、学識経験者と市民代表からなる基本構想検討委員会を設置し、会議開催時には事前に報道発表した上で公開で議論を行い、その資料や議事録をホームページで公開するなど市民への周知に努めてまいりました。今後におきましても、現庁舎の記憶を継承するための方策を含め、市民への周知を図りながら市民意見を反映してまいります。</p>
--	--	---

3 立地場所に関する事項

No.	意見の概要	本市の考え方	区分
7	いまの場所は立地条件が良いので、移転するべきではありません。	新庁舎の整備は「現庁舎敷地での建替え」として取組を進めてまいります。	B
8	現庁舎敷地は液状化リスクは低いと書いてありますが、海に近いので津波は大丈夫ですか。 川崎の真ん中の武蔵小杉に条件を満たす未利用地がないので現庁舎敷地を選ばざるを得ないのかもしれませんが、津波で壊れたら元も子もないので心配です。	神奈川県が平成24年3月に公表した12の津波浸水予測図の中で、本市に最大の津波被害をもたらす慶長型地震による津波でも、現庁舎敷地は浸水しないと予測されています。 なお万一に備え、電気・機械室への止水の方法など、浸水対策についても今後取組を進める中で検討してまいります。	D

4 新庁舎に求められる機能・役割等に関する事項

No.	意見の概要	本市の考え方	区分
9	市民共有の財産として、川崎市を象徴する歴史的建造物として後世に残り、川崎市の原風景となるような、格調が高くシンボリックな意匠デザインの建築計画としてほしい。	新庁舎は、デザインなどの配慮により、市民から親しみを持たれることが求められると考えており、今後取組を進める中で、新庁舎のデザインについて検討してまいります。	C
10	新庁舎整備の基本的な考え方の“文化・おもてなし”の項目にも記載されている川崎市の文化発信、国内外からのお客様のレセプション機能を強化してほしい。 特に着眼すべきポイントとしては、川崎市の表玄関である川崎駅周辺の商業・文化施設や、東海道川崎宿を活かした観光・地域活性化への取り組みと連携・連動して相乗効果を生み出し、かつ外国人観光客誘致促進にも直結する施設機能を擁することが、最も効果的であると考えます。 浮世絵美術館の設置、川崎駅周辺の飲食店と連携した食文化イベント常設スペース等が候補案としてあげられます。	基本構想では、「新庁舎整備の基本的な考え方」として、「川崎市の文化などの情報を発信するとともに、国内外からのお客様をもてなし、市民からも親しまれる市庁舎」を掲げており、今後取組を進める中で、新庁舎として適切な情報発信やもてなしの方法などについて検討してまいります。	C
11	機能も大事です。 狭隘化が甚大と書いてありますが、機能を損なっているのであれば改善してください。	基本構想では、新庁舎整備の基本的な考え方として、「すべての利用者に配慮し、効率的な執務が可能で、経済性が高く、将来の変化に柔軟に対応できる持続可能な市庁舎」を掲げており、狭あい解消だけでなく、機能面においても効率的な執務環境を確保することで、市民サービスの向上に資することができるよう取組を進めてまいります。	B

5 コスト・財源等に関する事項

No.	意見の概要	本市の考え方	区分
12	新市庁舎は結構ですけど、経費削減の努力もしてください。	本市の厳しい財政状況を踏まえて取組を進めていくことは重要ですので、基本構想に「3.1. 検討にあたって留意すべき事項」を加え、本市の厳しい財政状況を踏まえて、効率的な計画及び事業の方法などについて検討していくことを記載しました。	A
13	震災が起きた時、中枢機関になると思うので、たてかえには賛成です。 ただ我々の税金を使っている事を忘れて下さい。		A
14	市民が利用する施設の耐震化も大変重要ですが、職員の方が利用する庁舎の耐震化も同様に重要です。そういう意味で建替えには賛成です。 ただ、庁舎建替えのお金はどこから捻出されるのでしょうか。川崎市は、いわば140万市民を抱える大きなマンションです。マンションには通常、修繕積立金があります。ましてや、修繕ならぬ、建替えとなれば、建物の種類を問わず、更に多大な支出を要します。「市債の活用」といった方便で積み重なった借金により、私たちの子ども、孫の世代への過度な負担の先送りとならぬようお願いいたします。		A
15	新庁舎の整備自体は賛成しますが、税金をかけすぎないようにするべきです。 バブル時代のような立派な庁舎は不要です。 コストパフォーマンスが大事です。 新庁舎の余剰床を民間企業に貸してカフェなどを入れれば、収入が上がるし市民との懸け橋にもなるので良いのでは。 財政を悪化させて後世にツケを残したくありません。		A

6 その他に関する事項

No.	意見の概要	本市の考え方	区分
16	デザインは著名な建築家に頼むといいと思います。	今後取組を進める中で、設計の発注方法等について検討してまいります。	C
17	緑がほしいなどいろいろな市民の意見があると思うので、よく聞いて設計をして下さい。	市民への周知や市民意見の反映については、特に留意して取組を進めてまいります。	C
18	何通意見が寄せられましたか。	10通18件の意見をお寄せいただきました。	D